



先週は思いがけず出来田先生に発声練習もしていただけて良かったですね。
今後も4/16、4/27、5/4、5/25にご参加いただける予定とのことです。ありがたいですね♪

◆ 先週のおさらい

♪ハバネラ

P9 3段目以降 男声の「カルメン」への呼びかけ部分は「カールメン」ではなく「カルメーン」とカルメンに向かって名前を呼びかけるつもりで歌いましょう。

♪終曲の合唱

P74 1段目2小節目の「おもえや」で前を向きましょう。(それまでは後ろ向きです)

◆ メイコンチケット&チラシができました！

本日より、メイコン参加者にチケット20枚を配布いたします。参加代金8,000円と引き換えにて受付でお渡しします。チラシはご自由にお持ちください。チケットの額面は1枚1,000円です。追加で欲しい場合は受付にて1枚400円でお渡しします。できるだけたくさんの方々に声掛けをし、大勢のお客様に来ていただきましょう。

◆ 本日はカルメンの衣装合わせ(2回目)です！！

先週は男声も女声もそれぞれに工夫をこらした衣装を用意された方がいらっしゃいましたね。本日も衣装はご用意いただけましたか？16日(日)の特別練習では実際に衣装を着けて練習します。

- ・女声の衣装＝タバコ工場女工、酒場の女、闘牛場観客の3種類
- ・男声の衣装＝遊び人風、酒場の客、盗賊風の3種類

◆ 本日は駐車料金清算日です

木曜日の練習時間内で、1回200円以上の領収書を専用の清算用紙に5回分貼り、名前を記入して受付に提出してください。一律1000円と交換します。なお清算手続きは、なるべく練習が始まる前にお願いします。

◆ メイコン打上げパーティ参加申込受付中！

5月28日のメイコンサート終了後、ホテルメトロポリタン高崎にて17時から打上げを行います。申込用紙に会費4,000円を添えて受付に提出してください(本来5,500円のところ、団で1,500円負担します)。大いに飲み笑い歌い楽しみましょう。(5月18日締め切り)

◆ 4月16日(日)は特別練習日 10:00～16:00 中央公民館

4月16日(日)は特別練習日です。オペラは実際に衣装を着用して練習します。昼食や飲み物は各自でご用意ください。場所は中央公民館です。お間違え無いように！

◆ 5月18日(木) 総会時のミニコンサート出演者募集中！

我こそはと思われる方！奮っての応募をお待ちしています。
お申し込みは瀧川先生まで。(5月4日締め切り)

◆ 2017団員登録受付中です！（できるだけ5月末までに登録を済ませましょう）

新年度の団員登録の申込みを受付けています。

申込書に氏名・住所・メールアドレスなど全て記入の上、団費（17,000円）を添えて申込みください。

◆ 三枝成彰著「大作曲家たちの履歴書」⑩まとめ

音楽の20世紀とは何だったのか

赤羽 洋子先生

西洋音楽は民衆から切り離された存在の中で生まれました。Mozart や Beethoven を育てたのは23万1千人（1800年当時ウィーン人口）の民衆ではなく、ほんの一握り教養としてピアノを弾き歌を歌えた階級の人たちでした。その数6千人、よって西洋音楽は少数の特権階級が育てた音楽と言えます。それに対して他国の音楽は民衆の中から生まれ育ちました。日本の能、歌舞伎も最初は田楽や猿楽と言う庶民の中から生まれた音楽を洗練させていったものです。しかしこのように民衆発生の音楽が今日、各国の伝統音楽、民族音楽の地位に甘んじているのに対し、西洋音楽だけが世界的に普遍の存在で有り続けました。それはどうしてかが着目点です。

その最大理由の第1番目が、西洋音楽は唯一楽譜を持ったことです。日本をはじめとしたアジア人もアフリカ人も楽譜を持たず口伝でした。その為即興性が強く、同じ音楽でも歌詞や歌い方が変わったり様々なバリエーションが生まれました。しかも人間の記憶力は限界があるので口伝ですべての音楽を伝承していくのは不可能でした。一方 Mozart や Beethoven の膨大な作品は今日まで残っているし、国や民族が違っても正確に伝えて来られました。それは楽譜と言う普遍的な伝達記号が有ったからにほかなりません。言葉と文字は殆どの民族が持っていますが、一瞬のうちに雲散霧消してしまう「音」を記号化するというロジカルな発想をしたのは西洋人だけでした。

発生のルーツは、ローマ教皇の正確なキリスト教普及こそが最重要課題との考えでした。「祈る事は歌う事、歌う事は祈る事」その為には各地方で民謡のような「なまり」「アレンジ」が混入出来ないようにと考えて作りだされたのが楽譜です。5本の指の数、一目で判断できる五線譜に落ち着きました。

第2番目は、単純で魅力に乏しい音楽を更に豊潤な響きを持つ音楽、基本倍音列が発見されたのです。これが楽譜に次ぐ第2の画期的な発見で、ハーモニーが生み出されたのです。あらゆる民族の持つ普遍的な人間の嗜好すら体系化し、科学してしまう特殊な思考回路を持ち、音楽を倫理と捉えられたのが西洋人です。

第3番目は、つねに時代精神を反映して変容してこられた事です。宗教音楽から出発し、同時に一般民衆の音楽にも刺激を与えました。グレゴリオ聖歌からゴシック音楽へ、ルネサンス音楽、古典派、ロマン派へと周期的に変化を遂げてきました。

以上のように楽譜を持った事、ハーモニーの発見、時代精神の反映と変容、この三つの要素こそが西洋音楽の世界制覇の最大の理由でした。大衆と切り離された場所で生まれ育ち、つねに前進、改革を求められ続けた西洋音楽。これからはもう一度「音楽」の本来持っていた豊かな情緒や官能に立ち返り、新しい21世紀の音楽を求めていけるのではないのでしょうか。

大作曲家の履歴書に名を借りた三面記事的な個人情報お付き合い頂き有難うございました。

◆ イオン幸せの黄色レシートキャンペーン贈呈式（事務局長 小野里）

4月9日イオンモール高崎において、幸せの黄色いレシートキャンペーン贈呈式に、高崎第九合唱団を代表して出席いたしました。今年も福祉団体の多い中、音楽の街高崎での文化芸術団体として出席しました。

年間5日間だけで、数百万円分のレシートを投函していただき、ありがとうございます。この国で2番目にプロになった群響、建設費に2年間全市民の寄付を注いだ群馬音楽センター、そこで世界遺産かつEUの国歌となった第九で「全人類は兄弟になる」と歌う、10代から80代までのあらゆる立場の市民。

平和のために、誰かのために歌うことで、この恩返しをしたいですね。

